神奈川自然誌資料　7：49—50, Mar. 1986

横浜市内で捕獲されたアブラコウモリ

小　林　峯　生

Notes on Japanese Pipistella *Pipistrellus abramus* Found in Yokohama

Mineo KOBAYASHI

コウモリ類の採集は地上棲小哺乳類のトラップを使用して採集する場合と異なり，空中を生活の場としているのでなかなな困難である。洞窟内に棲んでいる種類を除いては落ちているものを偶然に拾うか，ネコがくわえてきたものを捕えるなどして，採集記録としている場合が多い。そんなわけで県下におけるコウモリ類の棲息調査は全く進んでいないといっても過言ではない。わが国に棲息が知られているコウモリ類は約25種であるが，県下に棲息が確認されている種は下記のように8種で，その他に棲息は確認されていないが，浜口・一寸木（1985）によって報告されたオヒキコウモリがある。

キクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumeguinum*, モモジロコウモリ *Myotis macrodactyllus*, アブラコウモリ *Pipistrellus abramus*, モリアブラコウモリ *Pipistrellus endoi*, ウサギコウモリ *Plecotus aurtius*, ユビナガコウモリ *Miniopterus schreibersi*, テングコウモリ *Murina lecogaster*, コテングコウモリ *Marina aurata*.

ここに報告するアブラコウモリ *Pipistrellus abramus*は，1985年9月15日に横浜市西区南浅間町の横浜油脂工業株式会社構内で得たものである。前々から横浜市神奈川区菊名町付近にコウモリが飛翔しているということを耳にしていたが，1985年7月に博物館への電話による問い合せにより中区横浜公園にも飛翔していることを知るとともに，8月になって馬車道通りでも飛翔しているコウモリを目撃した。

その時期に横浜油脂工業から，構内でコウモリの糞らしいものがあるので見てくれという求めに応じて行ったところ，たしかにコウモリの糞であることを知った。その時には種名は判定することができなかった。9月15日にもち込まれた小形のコウモリを調べたところ，アブラコウモリ *Pipistrellus abramus* と同定することができた。

アブラコウモリは日本，台湾，中国，朝鮮などに分布し，わが国では本州，四国，九州，奄美大島，南西諸島などから知られている。県下では古くから農村地帯の木造家屋を棲み家にしていることが知られているが，市街地での報告はない。どうして最近になって横浜市の中心街に，アブラコウモリが飛翔するようになったのか，その理由はわからないが，ここに今回入手したアブラコウモリの外部測定値をあげて，横浜市からの記録として報告する。

前腕32.0㎜，頭胴45.0㎜，尾34.0㎜，下腿12.0㎜，足（爪とも）7.2㎜，耳12.0㎜，耳珠（後縁）6.0㎜。

菊名町や横浜公園，馬車道通りなどに飛翔するコウモリも恐らくアブラコウモリであろう。今後の調査に期待するものである。

おわりにあたり，調査の機会をあたえてくださった横浜油脂工業株式会社瀬々倉康夫氏に心から感謝する次第である。

文　献

今泉吉典　1963　原色日本哺乳類図鑑，保育社，大阪，*57—102*.

浜口哲一・一寸木肇　(1985)　南足柄市で発見されたオヒキコウモリ，神奈川自然誌資料，(6)：*37—40*.

（神奈川県立博物館）

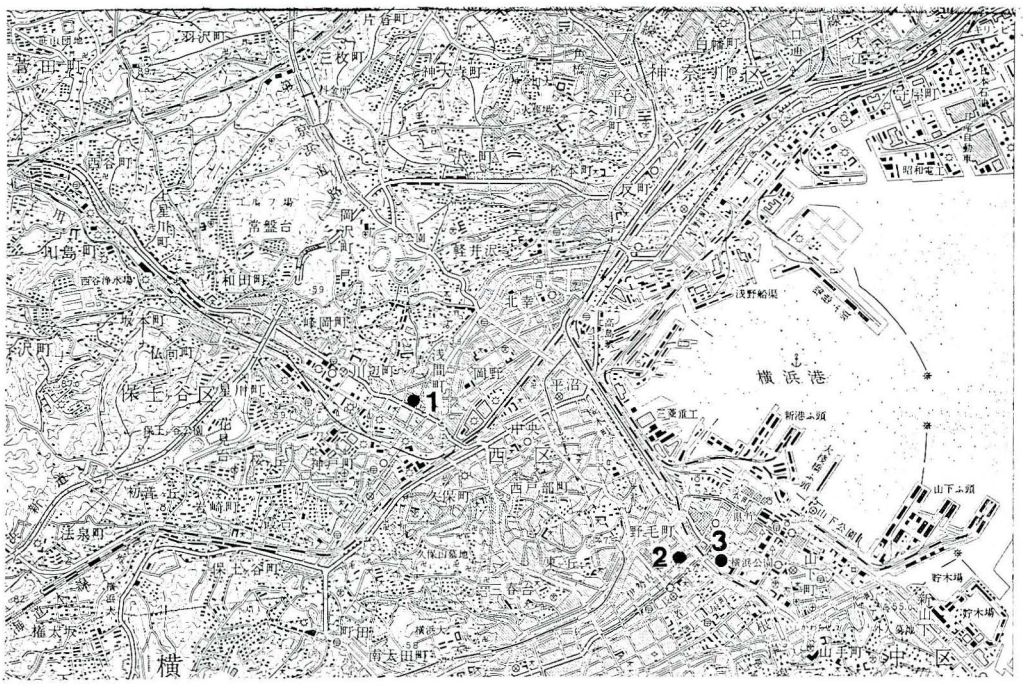

図1　アブラコウモリの採集地点（1）および目撃地点（2），（3）。

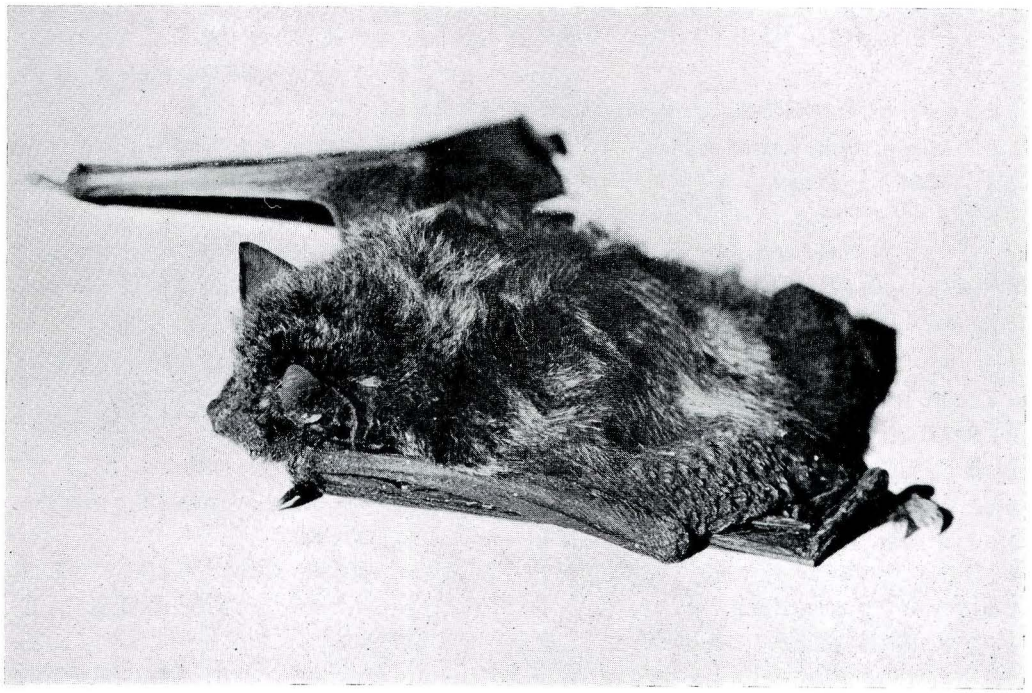

図2　南浅間町で採集されたアブラコウモリ